

ものづくり基礎講座

[普通旋盤] [フライス盤] [3DCAD/プリンタ] [平面研削盤/仕上げ]

受講生募集!

ものづくり企業の活性化を図るためには、高品質・高付加価値なものづくりができる技術者の育成が重要です。本講座では、ものづくりに従事する若手社員・初心者、機械要素加工の基礎知識を学びたい方を対象に、旋盤や平面研削盤の機械加工や3DCAD/プリンタを活用した設計～製作の基礎を学んでいただきます! 各種機械加工機(普通旋盤、フライス盤、平面研削盤等)や3Dプリンタの使用手法等、実習を通して学んでいただきますので、奮ってご参加ください!

日時 令和5年11月11日、18日、25日、12月2日
各土曜日の4日間、8時30分～17時00分

会場 一関工業高等専門学校 機械実習工場

講師 一関工業高等専門学校 教職員

受講料 3,800 円 (※受講の際にご持参下さい)
(内、受講料3,000円 傷害保険料800円)

内容 ①普通旋盤、②フライス盤、③3DCAD/プリンタ、④平面研削盤/仕上げ
※各パート最大2名ずつで、ローテーションし4パート受講



普通旋盤 実習例

テーマ	研修時間	種別	内容
普通旋盤	8:30～17:00	実習	ガイダンス、操作練習、安全作業教育 基礎実習:端面切削、外周切削、おねじ加工他 応用実習:ローレット加工、四爪単動チャック心出し練習他
フライス盤	8:30～17:00	実習	ガイダンス、操作練習、安全作業教育 基礎実習:六面体加工、段加工、溝加工他
3DCAD/プリンタ	8:30～17:00	座学 ・ 実習	ガイダンス、3D-CADの基本操作、各種作図方法、3Dプリンタ(熱溶解積層式)について、スライスソフトによるデータ変換、3D造形について
平面研削盤/仕上げ	8:30～17:00	実習	ガイダンス、操作練習、安全作業教育 平面研削盤:砥石の脱着、ドレス、平面研削加工他 仕上げ:ケガキ、ポンチ、穴あけ、ネジ切り、ヤスリ仕上げ他

※①先着順の受付となります。予めご了承くださいませよう、お願い致します。

※②本講座の使用機械 ⇒ ●普通旋盤:アマダ ワシノ LR-55A, LEO-80A ●フライス盤:日立 2MW-V
●平面研削盤:ナガセ SGM-52 ●ボール盤:エンコース ESD-350S
●3D-CAD: Fusion360 ●3Dプリンタ: Tiertime UP mini2、Raise3D E2

持参物 作業服、作業帽、安全靴、保護メガネ、筆記用具

期限 令和5年11月2日(木) ※先着順で、定員になり次第締め切らせていただきます。

申込方法 裏面の「受講申込書」に必要事項をご記入の上、FAXかメールにて下記へお申し込みください。当センターホームページからも「受講申込書」はダウンロードできます。

**申込先
問合せ先** (公財) 岩手県南技術研究センター 担当: 今井
電話: 0191-24-4688 FAX: 0191-24-4689 mail: imaik@sirc.or.jp URL <http://www.sirc.or.jp>

申込受付開始: 8月7日(月)～
※申込切は上記表をご覧ください

ものづくり基礎講座
[普通旋盤][フライス盤][3DCAD/プリンタ][NCフライス盤]
～ 令和5年度 ものづくり産業振興事業 ～

【受講申込書】

申込受付開始 : 8月7日 (月) ~
※申込メ切は上記表をご覧ください

次のことに同意し、下表のとおり受講を申し込みます。

- 受講に関する連絡等に使用します。 ○この情報は目的以外に使用することはありません。
- 収集したデータ処理などのため外部に委託することはありません。
- 講習中は安全第一で指導しますが、万一の怪我に備え、通院2,000円/日 入院3,000円/日の傷害保険に加入して頂きます。(講習日の自宅～講習会場～自宅までの事故が保障対象です)

令和 年 月 日

氏名 (ふりがな)		()	
年齢	歳	性別	男 ・ 女
住所 (自宅)	(必ずご記入ください。傷害保険の申込のみに使用します)		
生年月日	(必ずご記入ください。傷害保険の申込のみに使用します)		
所属企業			
所属部署・役職			
所在地			
TEL		FAX	
メールアドレス ※事務連絡致しますので、ご記入願います	<input type="checkbox"/> 人材育成メール不要 (岩手県南技術研究センターから、講座案内などをメールでお送りします。)		
機械工作の経験	経験 有 ・ 無	経験年数	年
	工作機械名 ()
講座の中で特に希望される内容			

※受講料 (3,800 円) は、初回の受講日にご持参ください。

岩手県南技術研究センターは、地域企業の
「ものづくり」・「技術開発」・「共同研究」を応援します。